



地域を変える

POWER!!

地域おこし協力隊 ユディカ エルギヤントさん

地域おこし協力隊1年目の活動を振り返って

肝付町の岸良で地域おこし協力隊1年目を過ごしました。1年間の間に、インドネシア食品加工の原材料の為、まずは農作物の種子取りを目的に自然又は有機栽培に挑戦しました。

岸良に引っ越す前、奈良県での家庭菜園をきっかけに交流が始まったインドネシア人やムスリムの留学生と色々な有機野菜の栽培やハラル食品弁当販売活動をしました。安くて、安心、安全な食品を食べられるようになったとお礼を頂きました。



▲ バドミントンで交流

岸良でもインドネシア食品加工の原材料の為の野菜をもっと栽培したいと考えています。10月に岸良で栽培したハーブと肝付

町の野菜を使ったインドネシア料理の試食会をしました。また学生の農業民宿体験の受け入れの時にインドネシア料理作り体験もしました。その他にも内之浦地区のインドネシア人漁業技能実習生と知り合いになり、色々交流をしました。



▲ 地域の人と試食会

これからの活動について

これからの活動（2022年4月～2023年3月）は昨年取った種子を栽培して収穫量を増やし、野菜の販売やインドネシアとハラル食品の加工に向けての取組みを進めたいと考えています。そして、インドネシアの文化を肝付町内の方々に紹介し、肝付町在住のインドネシア人の生活をサポートしたいと考えています。地域の方々と一緒に交流出来たら嬉しいです。

まだまだ地域の農法、特産品、文化の情報も浅いので、色々な農家や地域の方々と交流させてもらい、肝付町の農法や文化などを詳しく学びたいです。現在では活動記録としてInstagramでSNS情報を発信しています。

フォロー・いいね
よろしくお願
いします。



YUDIKA.ERGIYANTO

私は、高校（16歳）と大学（19歳）の時に、アメリカから日本に留学をしました。このような経験から、私は日本の学校とアメリカの学校の両方を体験し、アメリカと教育の違いがあることにとても驚きました。今回はその違いを紹介したいと思います。

まず、アメリカの教育制度は6-3-4制です。つまり、小学校が6年（幼稚園含む）、中学校が3年、高校が4年です。日本では先生が教室を移動しますが、アメリカでは生徒が教室を移動します。そのため、職員室や組がありません。また、学期も違います。アメリカでは、学期は8月下旬から5月上旬までになります。休みの間は特に宿題もないので、子供の頃、私は約3ヶ月の夏休みが大好きでした。

最後に、学校の服装規定の違いです。アメリカの公立学校は制服がないため、日常服装で授業を受けます。また、卒業式では、日本では制服や袴などを着ていますが、アメリカの高校と大学では、帽子とガウンという特別なものを着ています。どの国でも学校は勉強するところですが、どの国にも面白くてユニークな特徴があります。その特徴についての知識を高めると、色々な文化の習慣が理解できます。

CIR
キャサリンの
お国自慢
(教育の違い編)



卒業式のガウンと帽子

Instagramに
イベント情報などアッ
プしています！



EXPLORE_KIMOTSUKI